

近畿病院図書室協議会・ 中国四国九州医学図書室ネットワーク交流会

松本 圭子

日時：2014年6月21日（土）13:30～16:30
場所：岡山国際交流センター レセプション
ホール

プログラム：

1. 電子資料の紹介

(1) EBSCO International Inc, Japan

大野 充章 氏

(2) Ovid Technologies

斉藤 卓男 氏

2. 近畿病院図書室協議会紹介

京都第二赤十字病院 川野 眞樹 氏

3. 中国四国九州医学図書室ネットワーク紹介

高知医療センター 橋田 圭介 氏

4. KITOCat を利用した ILL について

京都桂病院 椎木 淳美 氏

5. 当院の文献複写業務について

岡山旭東病院 竹中 彩 氏

6. 質疑応答、意見交換、交流

参加者数：35名

1. 電子資料の紹介

洋雑誌の価格高騰に伴い、近年ますます需要が高まってきている電子資料について具体的な説明をしていただいた。

2. 近畿病院図書室協議会紹介

図書館活動には必須である「ILL」に基づく病図協の活動報告がなされた。設立から今日に至るまでの病図協の歴史に沿って、そのなかで

も特にドラマチックな生成過程を経て誕生した「所蔵雑誌目録 Web 版 KITOCat」に焦点が置かれ、確かに拡充していく病図協の現在が示された。

3. 中国四国九州医学図書室ネットワーク紹介

中国四国九州医学図書室ネットワークについて、活動内容およびその理念などを説明していただいた。どんなに過去の資料であろうとも長期保管管理を守っておられる図書館の存在を知り、その労力と情熱に驚かされた。司書として学ぶべきことの多いお話しであった。

4. KITOCat を利用した ILL について

KITOCat を利用した ILL について、実際に経験された問題点やその対処法などを詳細に紹介していただいた。

5. 当院の文献複写業務について

『「図書館」と「図書館」の相互扶助』という言葉に、ILLに参加するとは一体どのような意味を持つことなのか、そして自館の情報提供能力の実情についても改めて問い直す良い機会を得た。

6. 最後に

午前中に、2014年5月9日（火）にリニューアルオープンしたばかりの岡山大学附属図書館鹿田分館を見学した。大学図書館では珍しい24時間入館可の、しかもカフェが併設されている大変魅力あふれる図書館であった。箱そして中身さえ揃えば即効完璧！とはならないのが図書館というものだが、そこに深刻な何かを考えるよりも極めてシンプルな何か（1杯のご当地珈

班)を導入した岡山大学の思いきりの良さに感動した。

今回の交流会に参加させていただき、医学図書館員と医学図書館が持つ大きな潜在能力を実感した。一人職場が珍しくない環境から何かと

見落としてしまいがちな点ではあるが、協力し合うことで大きく動き出す力もあるのだ。さまざまなことを知り学び実感し、非常に有意義な交流会参加となった。